

## 礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

## セル ガイド

- ① 祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様があがめます。
- ② 互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ ディポジションの分かち合いをします。
- ④ セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

## 家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族のでいいのです。

- ① この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと？
- ② この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか？（または誉めたいですか？）1つだけ。
- ③ 聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか？
- ④ 互いの必要のために祈りましょう。

# デーヴォ ガイド



2022.2.7-13

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

## L T G ガイド

- ① お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。（2～3つ）
- ② 1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③ 礼拝メッセージの分かち合いをします。  
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディポジションの分かち合い（なるべく短く）
- ④ 預言の祈り（主の御心を宣言して祈り）をします。

## 7日 月曜

### ルカ

10:25 すると、ある律法の専門家が立ち上がり、イエスをためそうとして言った。「先生。何をしたら永遠のいのちを自分のものとして受けることができるでしょうか。」

10:26 イエスは言われた。「律法には、何と書いてありますか。あなたはどうか読んでいますか。」

10:27 すると彼は答えて言った。「『心を尽くし、思いを尽くし、力を尽くし、知性を尽くして、あなたの神である主を愛せよ。』また『あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ。』とあります。」

10:28 イエスは言われた。「そのとおりです。それを実行しなさい。そうすれば、いのちを得ます。」

10:29 しかし彼は、自分の正しさを示そうとしてイエスに言った。「では、私の隣人とは、だれのことでですか。」

10:30 イエスは答えて言われた。「ある人が、エルサレムからエリコへ下る道で、強盗に襲われた。強盗どもは、その人の着物をはぎとり、なぐりつけ、半殺しにして逃げて行った。」

10:31 たまたま、祭司がひとり、その道を下って来たが、彼を見ると、反対側を通り過ぎて行った。

10:32 同じようにレビ人も、その場所に来て彼を見ると、反対側を通り過ぎて行った。

10:33 ところが、あるサマリア人が、旅の途中、そこに来合わせ、彼を見てかわいそうに思い、

10:34 近寄って傷にオリーブ油とぶどう酒を注いで、ほうたいをし、自分の家畜に乗せて宿屋に連れて行き、介抱してやった。



10:35 次の日、彼はデナリ二つを取り出し、宿屋の主人に渡して言った。『介抱してあげてください。もっと費用がかかったら、私が帰りに払います。』

10:36 この三人の中でだれが、強盗に襲われた者の隣人になったと思いますか。」

10:37 彼は言った。「その人にあわれみをかけてやった人です。」するとイエスは言われた。「あなたも行って同じようにしなさい。」

10:38 さて、彼らが旅を続けているうち、イエスがある村にはいられると、マルタという女が喜んで家にお迎えした。

10:39 彼女にマリヤという妹がいたが、主の足もとにすわって、みことばに聞き入っていた。

10:40 ところが、マルタは、いろいろともてなしのために気が落ち着かず、みもとに来て言った。「主よ。妹が私だけにおもてなしをさせているのを、何ともお思いにならないのでしょうか。私の手伝いをするように、妹におっしゃってください。」

10:41 主は答えて言われた。「マルタ、マルタ。あなたは、いろいろなことを心配して、気を使っています。」

10:42 しかし、どうしても必要なことはわずかです。いや、一つだけです。マリヤはその良いほうを選んだのです。彼女からそれを取り上げてはいけません。」

隣人を愛するというのは簡単なようで、そうではありません。隣人がこの時代のサマリア人のように、忌み嫌われている場合もあるからです。自分の都合の良い人だけを、または接し易いだけを隣人とするのではなく、分け隔てなく愛しましよ

う。  
またマルタのように、目に見えるところで気をもんで不満を感じるのではなく、「どうしても必要なこと」を求めるようにしましよ

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## 8日 火曜

ルカ



11:1 さて、イエスはある所で祈っておられた。その祈りが終わると、弟子のひとりが、イエスに言った。「主よ。ヨハネが弟子たちに教えたように、私たちにも祈りを教えてください。」

11:2 そこでイエスは、彼らに言われた。「祈るときには、こう言いなさい。『父よ。御名があがめられますように。御国が来ますように。』」

11:3 私たちの日ごとの糧を毎日お与えください。

11:4 私たちの罪をお赦しください。私たちも私たちに負いめのある者をみな赦します。私たちを試みに会わせないでください。』」

11:5 また、イエスはこう言われた。「あなたがたのうち、だれかに友だちがいるとして、真夜中にその人のところに行き、『君。パンを三つ貸してくれ。』

11:6 友人が旅の途中、私のうちへ来たのだが、出してやるものがないのだ。』』と言ったとします。

11:7 すると、彼は家の中からこう答えます。『めんどろをかけないでくれ。もう戸締まりもしてしまいました。子どもたちも私も寝ている。起きて、何かをやることはできない。』

11:8 あなたがたに言いますが、彼は友だちだからということによって起きて何かを与えることはしないにしても、あくまで頼み続けるなら、そのためには起き上がって、必要な物を与えるでしょう。

11:9 わたしは、あなたがたに言います。求めなさい。そうすれば与えられます。捜しなさい。そうすれば見つかります。たたきなさい。

そうすれば開かれます。

11:10 だれであっても、求める者は受け、捜す者は見つけ出し、たたく者には開かれます。

11:11 あなたがたの中で、子どもが魚を下さいと言うときに、魚の代わりに蛇を与えるような父親が、いったいいるでしょうか。

11:12 卵を下さいと言うのに、だれが、さそりを与えるでしょう。

11:13 してみると、あなたがたも、悪い者ではあっても、自分の子どもには良い物を与えることを知っているのです。とすれば、なおのこと、天の父が、求める人たちに、どうして聖霊を下さらないことがありますでしょう。』

主の祈りではありますが、マタイとは違ったまとめ方で記録してあります。主の御名をあがめること、御国（すなわち神の支配）を求めること、必要のために祈ること、そして罪を赦して自分も赦されることが大切であると分ります。

私たちの祈りは気が付くと求めるばかりになっているかも知れません。このように意識して、みこころにかなった祈りを心がけると、さらに確信に満ちた信仰生活になるでしょう。

みこころにかなわない祈りも続けても、空しく手ごたえのないものになってしまいます。みこころにかなう祈りをするには、聖霊によることです。ですからイエス様は「…天の父が、求める人たちに、どうして聖霊を下さらないことがありますか。」と、励ましてくださいます。

聖霊を求めて、聖霊によって祈り、主から「必要な物を与え」ていただきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## 9日 水曜

### ルカ

11:14 イエスは悪霊、それもおしの悪霊を追い出しておられた。悪霊が出て行くと、おしがものを言い始めたので、群衆は驚いた。11:15 しかし、彼らのうちには、「悪霊どものかしらベルゼブルによって、悪霊どもを追い出しているのだ。」と言う者もいた。

11:16 また、イエスをためそうとして、彼に天からのしるしを求める者もいた。

11:17 しかし、イエスは、彼らの心を見抜いて言われた。「どんな国でも、内輪もめしたら荒れすたれ、家にしても、内輪で争えばつぶれます。

11:18 サタンも、もし仲間割れしたのだったら、どうしてサタンの国が立ち行くことができます。それなのにあなたがたは、わたしがベルゼブルによって悪霊どもを追い出していると言います。

11:19 もしもわたしが、ベルゼブルによって悪霊どもを追い出しているのなら、あなたがたの仲間、だれによって追い出すのですか。だから、あなたがたの仲間が、あなたがたをさばく人となるのです。

11:20 しかし、わたしが、神の指によって悪霊どもを追い出しているのなら、神の国はあなたがたに来てくれるのです。

11:21 強い人が十分に武装して自分の家を守っているときには、その持ち物は安全です。11:22 しかし、もっと強い者が襲って来て彼に打ち勝つと、彼の頼みにしていた武具を奪い、分捕り品を分けます。

11:23 わたしの味方でない者はわたしに逆らう者であり、わたしとともに集めない者は散らす者です。



11:24 汚れた霊が人から出て行って、水のない所をさまよいながら、休み場を捜します。一つも見つからないので、『出て来た自分の家に帰ろう。』と言います。

11:25 帰って見ると、家は、掃除をしてきちんとかたづいていました。

11:26 そこで、出かけて行って、自分よりも悪いほかの霊を七つ連れて来て、みなはいり込んでそこに住みつくのです。そうになると、その人の後の状態は、初めよりもさらに悪くなります。』

11:27 イエスが、これらのことを話しておられると、群衆の中から、ひとりの女が声を張り上げてイエスに言った。「あなたが産んだ腹、あなたが吸った乳房は幸いです。」

11:28 しかし、イエスは言われた。「いや、幸いなのは、神のことばを聞いてそれを守る人たちです。」

イエス様が圧倒的な力を見せておられるのに、批判する人々がいました。不信仰とはこういうもので、自分が信じないためには何とでも理屈をつけられるものです。イエス様はサタンと神の間には協調はないことを語り、御自分が神の計画によって悪霊を追い出していることを明言なさいます。すなわち旧約に預言されていたことが、今まさに起きているのだということです。

大切なことはイエス様を批判や評価することではなく、その支配に入れていただくことです。すなわち聖霊によって満たされて支配されることです。私たちが罪や過去を清算するとき、その後神様のみこころによって歩むことが必要です。そうでないと、「初めよりもさらに悪く…」なる可能性があるのです。

イエス様の權威に安心しつつ、その權威によっ

て生き、聖霊に満たされましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## ▶10日 木曜

### ルカ

11:29 さて、群衆の数がふえて来ると、イエスは話し始められた。「この時代は悪い時代です。しるしを求めているが、ヨナのしるしのほかには、しるしは与えられません。

11:30 というのは、ヨナがニネベの人々のために、しるしとなったように、人の子がこの時代のために、しるしとなるからです。

11:31 南の女王が、さばきのときに、この時代の人々とともに立って、彼らを罪に定めず。なぜなら、彼女はソロモンの知恵を聞くために地の果てから来たからです。しかし、見なさい。ここにソロモンよりもまさった者がいるのです。

11:32 ニネベの人々が、さばきのときに、この時代の人々とともに立って、この人々を罪に定めます。なぜなら、ニネベの人々はヨナの説教で悔い改めたからです。しかし、見なさい。ここにヨナよりもまさった者がいるのです。

11:33 だれも、あかりをつけてから、それを穴倉や、枳の下に置く者はいません。燭台の上に置きます。はいつて来る人々に、その光が見えるためです。

11:34 からだのあかりは、あなたの目です。目が健全なら、あなたの全身も明るいが、しかし、目が悪いと、からだも暗くなります。

11:35 だから、あなたのうちの光が、暗やみにならないように、気をつけなさい。

11:36 もし、あなたの全身が明るくて何の暗い部分もないなら、その全身はちょうどあかりが輝いて、あなたを照らすときのように明るく輝きます。」

イエス・キリストの救いを受け入れない多くの



人々は、信じるための「しるし」すなわち根拠を求めますが、それは自分自身の価値判断を優先している姿です。そして多くの場合は否定するための言い訳を探しているようなものです。どんなにすばらしい「しるし」が神から与えられても、それを受け入れない言い訳はいくらでも可能です。

ヨナやソロモンにまさったキリストであるイエスがおられ、人類の罪を背負って死なただけでも驚くべきしるしであるのに、さらには3日めによみがえり死に勝利なさったのに、それを受け入れない人々がいるのですから、「この時代は悪い時代」ということになるでしょう。

しるしよりも救いの事実と真理が厳然としてあるのです。しかし「目が暗いと、からだも暗くなり」、事実も真理も見えなくなってしまいます。私たちは聖霊によって目が開かれて、十字架を復活を知ることができたのですから、常に聖霊によって「目が健全」な状態でいましょう。

勝手な「しるし」を求めて、不信仰に陥ることなく、十字架と復活という最高のしるしによって解決をいただきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？







11:37 イエスが話し終わられると、ひとりのパリサイ人が、食事をいっしょにしてください、とお願いした。そこでイエスは家には行って、食卓に着かれた。

11:38 そのパリサイ人は、イエスが食事の前に、まずきよめの洗いをなさらないのを見て、驚いた。

11:39 すると、主は言われた。「なるほど、あなたがたパリサイ人は、杯や大皿の外側はきよめるが、その内側は、強奪と邪悪とでいっぱいです。

11:40 愚かな人たち。外側を造られた方は、内側も造られたではありませんか。

11:41 とにかく、うちのものを施しに用いなさい。そうすれば、いっさいが、あなたがたにとってきよいものとなります。

11:42 だが、忌まわしいものだ。パリサイ人。あなたがたは、はつか、うん香、あらゆる野菜などの十分の一を納めているが、公義と神への愛とはなおざりにしています。これこそ、実行しなければならない事からです。ただし他のほうも、なおざりにしてはいけません。

11:43 忌まわしいものだ。パリサイ人。あなたがたは、会堂の上席や、市場であいさつされることが好きです。

11:44 忌まわしいことだ。あなたがたは、人目につかぬ墓のようで、その上を歩く人々も気がつかない。」

11:45 すると、ある律法の専門家が、答えて言った。「先生。そのようなことを言われることは、私たちをも侮辱することです。」

11:46 しかし、イエスは言われた。「あなたがた律法の専門家たちも忌まわしいものだ。

あなたがたは、人々には負いきれない荷物を負わせるが、自分は、その荷物に指一本もさわろうとはしない。

11:47 忌まわしいことだ。あなたがたは、預言者たちの墓を建てている。しかし、あなたがたの先祖は預言者たちを殺したのです。

11:48 そのようにして、あなたがたは、自分の先祖のしたことの証人となり、それを認めています。なぜなら、あなたがたの先祖が預言者たちを殺し、あなたがたがその墓を建てているからです。

11:49 だから、神の知恵もこう言いました。

『わたしは預言者たちや使徒たちを彼らに遣わすが、彼らは、そのうちのある者を殺し、ある者を迫害する。』

11:50 世の初めから流されたすべての預言者の血の責任を、この時代が問われるためである。

11:51 それは、アベルの血から、祭壇と神の家との間で殺されたザカリヤの血に至るまでの、(V.50 挿入) そうだ。わたしは言う。この時代はその責任を問われる。』

11:52 忌まわしいものだ。律法の専門家たち。あなたがたは、知識のかぎを持ち去り、自分もはいらず、はいろうとする人々をも妨げたのです。」

11:53 イエスがそこを出て行かれると、律法学者、パリサイ人たちのイエスに対する激しい敵対と、いろいろのことについてのしつこい質問攻めとが始まった。

11:54 彼らは、イエスの口から出ることに、言いがかりをつけようと、ひそかに計った。

ました。律法学者は多くを学んではいましたが、自ら悔い改めることはしませんでした。私たちは心を省みて、謙遜に悔い改めましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

パリサイ人は外面ばかりに気を取られ、完璧であると自負していましたが、心の内側は汚れてい





12:1 そうこうしている間に、おびただしい数の群衆が集まって来て、互いに足を踏み合うほどになった。イエスはまず弟子たちに対して、話された。「パリサイ人のパン種に気をつけなさい。それは彼らの偽善のことです。」

12:2 おおいかぶされているもので、現わされないものはなく、隠されているもので、知られずに済むものはありません。

12:3 ですから、あなたがたが暗やみで言ったことが、明るみで聞かれ、家の中でささやいたことが、屋上で言い広められます。

12:4 そこで、わたしの友であるあなたがたに言います。からだを殺しても、あとはそれ以上何もできない人間たちを恐れてはいけません。

12:5 恐れなければならぬ方を、あなたがたに教えてあげましょう。殺したあとで、ゲヘナに投げ込む権威を持っておられる方を恐れなさい。そうです。あなたがたに言います。この方を恐れなさい。

12:6 五羽の雀はニアサリオンで売っているでしょう。そんな雀の一羽でも、神の御前には忘れられてはいません。

12:7 それどころか、あなたがたの頭の毛さえも、みな数えられています。恐れることはありません。あなたがたは、たくさんの雀よりもすぐれた者です。

12:8 そこで、あなたがたに言います。だれでも、わたしを人の前で認める者は、人の子もまた、その人を神の御使いたちの前で認めます。

12:9 しかし、わたしを人の前で知らないと言

う者は、神の御使いたちの前で知らないと言われます。

12:10 たとい、人の子をそしることを使う者があっても、赦されます。しかし、聖霊をけがす者は赦されません。

12:11 また、人々があなたがたを、会堂や役人や権力者などのところに連れて行ったとき、何をどう弁明しようか、何を言おうかと心配するには及びません。

12:12 言うべきことは、そのときに聖霊が教えてくださるからです。」

パリサイ人はユダヤ宗教の教師で、その特権ゆえに自分は義人であるということを見せられる人々でした。しかしその偽善は明らかで、イエス様は「おおいかぶされているもので、現わされないものはなく、隠されているもので、知られずに済むものはありません。」と言われましたが、それは時代を越えて、私たちへの戒めでもあります。

そもそも、「おおいかぶされている」から丈夫だという考えがあるのは、神を恐れていないからです。永遠のさばきの権威を持っておられる方を恐れるべきであるのは言うまでもありません。

逆説的ですが、神様の義と権威を恐れる人はそのみこころに沿っていこうとしますから、神様のさばきを恐れる必要がなくなります。もちろん十字架による赦しがあつてのことですが、すでに救われている私たちも、安心しきってしまい神を恐れることを忘れていないか、自己吟味が必要です。

人よりも神を恐れる者は、人が見ていなくても正しい方向を選ぶことができます。また誰に対してもビクビクしません。そしてそのような価値観は、証しのときに表れます。イエス様を知らないとは言わないでしょう。そして聖霊によって語る事ができるのです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



12:13 群衆の中のひとりが、「先生。私と遺産を分けるように私の兄弟に話してください。」と言った。

12:14 すると彼に言われた。「いったいだれが、わたしをあなたがたの裁判官や調停者に任命したのですか。」

12:15 そして人々に言われた。「どんな貪欲にも注意して、よく警戒しなさい。なぜなら、いくら豊かな人でも、その人のいのちは財産にあるのではないからです。」

12:16 それから人々にたとえを話された。「ある金持ちの畑が豊作であった。」

12:17 そこで彼は、心の中でこう言いながら考えた。『どうしよう。作物をたくわえておく場所がない。』

12:18 そして言った。『こうしよう。あの倉を取りこわして、もっと大きいのを建て、穀物や財産はみなそこにしまっておこう。』

12:19 そして、自分のたましいにこう言おう。「たましいよ。これから先何年もいっぱい物がためられた。さあ、安心して、食べて、飲んで、楽しめ。」』

12:20 しかし神は彼に言われた。『愚か者。おまえのたましいは、今夜おまえから取り去られる。そうしたら、おまえが用意した物は、いったいだれのものになるのか。』

12:21 自分のためにたくわえても、神の前に富まない者はこのとおりです。」

相続争いなど家庭の悩みで教会を訪ねる人は多いですが、イエス様はそのことに解決を与えることはなさませんでした。むしろそれよりも大切なことがあると、財産よりも命の大切さを語られたのでした。

この世の多くの悩みは、命よりも財産を過大に求めるところから生じるようです。この喩え話は、私たちにとって一生覚えておくべきものでしょう。

私たちは神の前に富む者でありたいと思います。それは永遠の財産であり、天国にも蓄えられているものであり、地上でも必要とあれば主が天の窓を開いて惜しみなく与えてくださるものだからです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

